

基本施策	委員からの事前意見等	市の考え方(回答)
全体	<p>各指標の表の「目指す方向」の欄が、↑と↓で表現されていますが、重要な項目、基幹的な項目、また可能なものは具体的な数値や期日の記載を望みます。その数値等が義務やノルマという意味ではなく、PDCAサイクルにおけるCheckのための指標として捉え、実績との差を見ることによって、Actionや次のサイクルのPlanのための考察材料になるのではないのでしょうか。</p> <p>同表の「基準値」の語句は、「現状値(〇〇時点)」のほうがわかりやすいと思います。</p>	<p>まちづくり推進計画のうち、市政戦略編の成果指標については「目標値」を設定し、分野別計画編及び自治体経営編の指標については「目指す方向」を設定しています。ご指摘にある重要な項目や基幹的な項目については、市政戦略編で掲げる重点事業に該当するかと思いますが、これについては「目標値」を設定しているところです。なお、分野別計画編及び自治体経営編につきましては、社会情勢や経済状況等の変化により経営資源の投入状況も変わることから目指す方向を示しているところですので、ご理解いただきたいと思います。</p> <p>また、「基準値」より「現状値」のほうがわかりやすいというご指摘ですが、PDCAサイクルの起点という意味から「基準値」としているところで計画図書を作成する際には、「ページの構成や見方」にて、わかりやすい説明に努めさせていただきます。</p>
全体	<p>1. 本章の目的として「(1)自治体経営編の目的」となっていますが、記述内容はこれまでの取組みの経緯が書かれていますので、「自治体経営編の策定の背景」とされてはいかがでしょうか。</p> <p>また、目的は(2)の最後のパラグラフに記述されていますので、むしろ(2)を「自治体経営編と小牧市自治基本条例の関係」ではなく、「自治体経営編の目的」とされてはいかがでしょうか。</p>	<p>ご指摘を踏まえ修正します。</p>
全体	<p>1ページの本文17～18行目について、「提供し続けることは、」とありますが、「提供し続けるためには、」としたほうがわかりやすいかと思えます。</p>	<p>ご指摘を踏まえ修正します。</p>
1 協働・情報共有	<p>地域協議会の設立(現状10協議会)について、令和3年までに全16協議会設立を目標とする、という記述はどうでしょうか。(現行の第3次地域福祉(活動)計画において、ご近所福祉ネットワーク(地域協議会の福祉部会)の全16小学校区設立はH33に定められています)</p> <p>区(自治会)加入率の目指す方向が↑となっていますが、世の趨勢を眺めれば↓の可能性が大だと思います。それをあえて↑とするのであれば、その策やアプローチについての言及が求められるのではないのでしょうか。その手法、また誰がプロモーターとなるかなど、例えば地域パートナーや地域支え合い推進員に託する役割や期待する機能等について記述されたらどうでしょうか。</p>	<p>地域協議会は、地域の絆を強化するとともに、地域活動を活性化し、支え合い助け合いの地域づくりを推進するための大変重要な取組みとして位置付けています。そのため、この事業につきましては、市政戦略編に位置付けることとし、あわせて「地域協議会の設立数」の指標も設定し、目標値として16組織としたところです。また、これにより本指標は自治体経営編から削除いたします。</p> <p>「区(自治会)加入率」は状態指標として設定しています。この状態指標の目指す方向は、個別の事業で達成できるものではなく、展開方向で設定しているすべての手段などを総合的に推進していくことで達成できるものと考えていますので、ご理解いただきますようお願いいたします。</p>

基本施策		委員からの事前意見等	市の考え方(回答)
1	協働・情報共有	市民活動センターとは、何を指しているのですか？また、市民討議会とはどのようなものでしょうか？	市民活動センターは、平成17年度に開設した施設で、市内における市民活動の総合的な拠点となる施設であり、団体の育成支援や情報提供、各種講座などを行っています。 また、市民討議会は、無作為抽出により選ばれた市民の中から参加者を募集し、まちづくりに関するテーマについて、自ら何かできることはないか、自分たちのまちを自分たちの力で良くするにはどうすればいいかなどの話し合いを通じ、まちづくりや市政への参画意識を醸成することを目的として、平成24年度から(一社)小牧青年会議所と協働で開催しています。
1	協働・情報共有	展開方向1【手段】3点目 協働提案事業化制度や市民活動支援制度については、まだまだ改善の余地がある。よって、文面を「～などの協働の仕組みを周知することにより」ではなく、例えば「～などの協働の仕組みを整備・周知することにより」と「整備」という言葉を追記されたほうがよいと思う。	ご指摘を踏まえ修正します。
1	協働・情報共有	展開方向1【展開方向の進捗状況を測定するための指標】 2つの指標だけでは十分とは言い難い。また、市民活動団体も高齢化が進んでおり、今後の増加は簡単ではない。団体以外の数値として、「まちづくりに参加する市民、ボランティアの数」を入れてみてはどうか。	ご提案のありました指標については、目指す方向性は明確なものの、基準値及び実績値の把握が非常に難しく、指標の達成度合の測定が困難であると思われる。
1	協働・情報共有	展開方向2 地域コミュニティ活動は、地域の担い手をどのように継続していくか？増やしているのか？が課題。内容的には、「担い手」を増やすことに注力しているのは理解できるが、目標や手段にも「担い手」という言葉を入れたほうが理解しやすいと感じる。また、指標が数値的に寂しいため、例えば「地域協議会に参加している市民の数」など、担い手づくりの母体となる数値についても指標として取り入れたほうが良いのではないか。	ご指摘のとおり、地域活動の担い手の確保は重要な課題であると考えておりますので、目標についてはご指摘を踏まえ修正します。手段においては、担い手不足に限らず、地域協議会や区、それぞれが抱える課題に幅広く支援することが必要であると考えため、追記はいたしませんのでご理解ください。 指標については、地域協議会の活動は、行事などへの参加のみならず、地域における高齢者の生活支援や見守り活動・安全マップの作成といった、校区住民すべてを対象としております。また、行事の参加数は、天候などの要因により大きく増減することも想定されます。そのため、参加している市民の数を指標とすることは考えておりませんのでご理解ください。
1	協働・情報共有	展開方向3【手段】 「インターネットやSNSに加え、新たな広報ツール」とあるが、そのツールとは何を想定しているのか？	市の魅力発信のため、今年度新たに「小牧市PR隊」を設置し、様々な広報活動を予定しており、これを「新たな広報ツール」として位置づけ、積極的に活用していきたいと考えています。 しかしながら、ご指摘にあるように分かりづらい表現になっていることから、ご指摘を踏まえ修正します。

基本施策		委員からの事前意見等	市の考え方(回答)
1	協働・情報共有	<p>地域協議会の役員でないと、情報が全くない、何をしているのか見えてこない。協議会は役員だけのものではと改めて思った。地域の住民も同じだろうと思う。地域全体が家族でありたいと思う。高齢化だからこそ助け合い支え合いたい。一人ひとりの声掛けの大切さを訴えていきたい。</p>	<p>地域協議会の活動・取組みの周知については、各地域協議会においても共通の課題として認識しており、ご意見いただきましたとおり地域協議会活動の周知はもとより、地域協議会自体の認知度も低いのが現状です。</p> <p>そのため、一部の地域協議会においては独自のHPの作成や、不定期ながらも協議会の事業の案内や活動報告等を地域の回覧等により広報活動に力を入れております。また、市においても市広報において、毎月15日号に地域協議会の紹介ページを設けるなど市民の方に知っていただけるよう取り組んでいるところであります。</p> <p>地域協議会の活動は、決して役員だけのものではなく、広く校区住民の方々にかかわっていただき、各地域のニーズや課題を捉えた取組みを実施することが、助け合い、支え合いのコミュニティ組織として最も大切なことと考えておりますので、市としても引き続き支援してまいりたいと考えております。</p>
2	行政サービス	<p>「市民レポートシステム(まちレポこまき)」が構築されても、従来型の通報手段(電話で直接、区長経由、ホームページのフォーム経由等)は残るといことですね。通報手段がスマホが必要なレポートシステムだけになるとするのは困ります。</p> <p>私はスマホを持っておらず、古い人間から見ると、ICTの進展を脅威に感じる場合があります。丁寧なフォローと周知を望みます。</p>	<p>お見込みのとおり「市民レポートシステム(まちレポこまき)」の導入後も、電話などの従来から実施している通報手段は、継続しますので、ご安心ください。</p> <p>今後も様々な世代の方からのご意見や、感想を幅広くお聴きする体制を整え、同時にその周知に努め、さらなる市民サービスの向上を目指します。</p>
2	行政サービス	<p>指定管理者制度の活用、民間事業者への事業委託、施設の管理委託は別に、幼・保など教育・文化的なものは、個別に検討した結果はどうあれ、本文章に明記するのは一考すべきだと思います。※「お墨付き」的なイメージになるのは困る。</p> <p>また、委託業務を管理・指導する費用を含めた総費用でも安価なのでしょうか。</p>	<p>指定管理者制度の導入については、指定管理者制度に関する指針において、各施設の性質等に応じて弾力的に運用することができるものとしており、導入基準に照らし、総合的に判断することとしています。</p> <p>また、通常、委託業務を管理・指導するために新たな人員配置を行うことはないため、直営による費用と委託契約金額を比較して後者の方が低い場合は、委託業務の方が安価と判断することができると考えられます。</p>
2	行政サービス	<p>【現況と課題】</p> <p>4段目に関連して、小牧市の様々な行政サービスの企画・設計・構想などをつくっていく段階において、地元の民間事業者ではなく、遠方の事業者によって進められ、その影響により地元の事業者が事業実施に関われない場合や、さらに良い事業提案があったとしても採用されない場合がある。有名コンサルや大手重視の姿勢ではなく、地元民間事業者ファーストの姿勢や、より多く地元事業者が地元行政サービスに関われるような配慮が大切と思う。この文面では、「民間事業者に対する事業委託」のみが言及されているが、基本施策4財政運営のことも踏まえれば、誰もが納得できるような特殊なサービスを除いて、地元の民間事業者への事業委託を優先することを明言しても良いのではないかと。</p>	<p>市からの業務や物品の発注については、競争性が確保され市内事業者で対応可能なものについては、地元事業者を優先的に対象としているところです。</p> <p>一方で単なる価格競争ではなく、成果品や実施内容の質や特性などが重視される案件については、より広範囲で多様な事業者にも門戸を開き、多くの提案から優れた内容を選定することが、質の高い行政サービスを市民へ提供することに繋がると考えられるため、事業の内容に応じて対応しているところです。</p>

基本施策		委員からの事前意見等	市の考え方(回答)
2	行政サービス	展開方向3【手段】 地元の民間活力の活用や連携についての指標の採用も検討いただきたい。	上記のとおり、現状でも競争性が確保され市内事業者で対応可能なものについては、地元事業者を優先的に対象としているところであり、指標を設定した場合でも数値の改善に繋げることは困難です。
2	行政サービス	かつて(旧庁舎のころ)ある窓口に書類を提出しに行ったとき、昼の12時ころに着いたところ、昼休憩に入り知らん顔をされて1時まで待たされたことがあった。(学生時代に某市役所でアルバイトしたときは、昼休みは交代制だった)それから30年近くたっているのにと考えたことがある。 窓口業務の改善では一層の充実を望みたい。篠岡支所でも、「ここではやっていません、本庁へ行ってください」と言われ、休暇を取ってきたのにまた休まなければとうんざりしたこともあった。言葉だけでなく、市民にとってどうすればよいかを考えてほしい。高齢者には横文字に対応できない人も多くいます。	市民に親しまれ信頼される職員となるように、引き続き職員の窓口および電話対応など接遇マナー能力の向上に取り組みます。(行政運営展開方向1の手段に記載)
2	行政サービス	指定管理者制度について 児童館で仕事をさせていただいたことがあります。館内のスタッフ(学生やアルバイト)がどれくらい交代するか(やめていくか)ご存じでしょうか。市の職員が来られることもあります。館長と打ち合わせをしてすぐ帰られますが、職員への語りかけもお願いしたい。利用者の方からの苦情もよく聞かされました。利用者は市に言いたくても直接は言いにくいと聞かされました。「まかせる」はいいですが、指導をお願いしたい。スタッフの声もそれとなく聞いてあげてほしい。	利用者にとって良好な施設の管理運営を担保できるよう市による適切なモニタリングの実施を行っていきます。
3	行政運営	9ページの現況と課題の5行目「自律的な人材育成」ですが、自前の人材育成ではなく自律的人材の育成という意味かと思しますので、「自律的な人材の育成」とされてはいかがでしょうか。	ご指摘を踏まえ修正します。
3	行政運営	職員のプロ意識醸成の一環として、民間企業への武者修行、あるいは相互交流などの施策を検討しては如何でしょうか？ コスト意識向上やスピード感を持った取組みができる人材育成に役立つと考えます。	平成27年4月より、民間のノウハウの取得や組織の活性化などにつながる取組みとして、民間企業等職務経験者の採用を行っていますが、ご提案いただいた内容については、手段に記載した人材育成基本方針の策定の中で検討していきます。

基本施策		委員からの事前意見等	市の考え方(回答)
3	行政運営	<p>【現況と課題】</p> <p>5段目、「新たなPDCAサイクルによる進捗管理などをおこなってきた」とあるが、どのようにやってきたのか？</p>	<p>新たなPDCAサイクルによる進捗管理とは、新基本計画を起点としたPDCAサイクルに基づく行政経営の仕組み・基盤を構築し、関連する庁内の制度等が連動した実効性の高い運用を行うことで、市政の継続的な改善・向上の実現を目指すものです。</p> <p>具体的には、例えば、行政評価では、施策評価を平成26年度から試行するとともに、事務事業評価を実施し、新基本計画の基本施策、展開方向、事務事業に対して設定した指標の要因分析を踏まえつつ、実施計画事業の立案、経常事業の見直しを行い、その結果を予算編成に反映に取り組みました。</p> <p>また、人事評価では、新基本計画と組織目標の関連性、組織目標と個人目標の関連性を明示することで、PDCAサイクルに基づく継続的な改善に取り組む権限と責任を明確にしました。</p>
3	行政運営	<p>【現況と課題】</p> <p>小牧市は、多くの市民サービスを「前例踏襲型」で行っているという印象がある。時代に合わせて様々な条例や要綱がつくられ、それに合わせ事業展開をするのは理解できるが、地方分権の進展に伴い、条例・要綱の改廃については、各自治体に任されていると理解している。小牧市の条例・要綱においても形骸化しているものや機能していないもの、既に役割を終えたものなどもあると思われる。一度整理(条例・要綱の仕分け作業)も必要なのではないかを感じる。基本施策4の公共ファシリティマネジメントがハードの検証であるならば、基本施策3の行政運営は公共サービスマネジメントをつかさどる条例・要綱をもとに積み重ねてきたソフトの検証といえるだろう。こうした考え方の記述や指標が、「自治体経営編」にあっても良いと思う。</p>	<p>ご指摘のとおり、地方分権の進展などもあり、行政に求められる役割、事業も時代とともに変わっていくものと考えられます。</p> <p>行政評価や協働提案事業化制度の実施などにより各事業の改善や修正を図っていますが、改めて市の事業の整理や検証、評価手法についても取り組むよう記載します。</p>
3	行政運営	<p>【まちの状態を表す指標】</p> <p>類似団体における職員数の順位の意味がよくわからない。また、一人当たりの生産性を示すのであれば理解できないこともないが、他との比較順位を指標に示すことはあまり意味をなさないのではないか？</p>	<p>類似団体における職員数の順位は、小牧市と人口などが同程度の自治体と比較したものです。人口あたりの職員数が少ないほど上位になり、効率的な運営をしていると考えられるため指標として置いています。</p>
3	行政運営	<p>【まちの状態を表す指標】</p> <p>効率ではなく人材の育成という観点からすれば、例えば「積極的に地域活動(自治会活動、地域協議会活動、市民活動、ボランティア活動など)に取り組んでいる職員の数」といった項目をいれていただくと、より地域の実情に即した行政サービスの位置づけの理解や市民との接し方などが向上していくのではないかと思います。</p>	<p>ご指摘いただいた地域活動は、基本的には業務時間外の自主的な活動になると考えられ、指標をおき数値の上昇を目指すことは強制力が働く恐れもあるため、置いておりません。</p>

基本施策		委員からの事前意見等	市の考え方(回答)
3	行政運営	展開方向1【目標】 表記的には問題ないが、目標にある「創造性・機動性」が【展開方向の進捗状況を測定するための指標】のなかに、容易に理解できる表現となっていない。	「創造性・機動性」は組織体制の整備に関するものですが、組織数の増加や減少が一概に良い悪いとは判断できないため、組織に関する指標は置いておりません。 なお、「創造性の高い組織」とは、優れた課題解決力を持つ組織、「機動性の高い組織」とは、状況に素早く対応する組織と考えております。
3	行政運営	展開方向1【手段】 6段目の「職場内研修などの活用のほか、………環境を整備します」が【展開方向の進捗状況を測定するための指標】のなかに、容易に理解できる表現となっていない。	組織内研修については、職務として受講することもあります。職員が知識や技能などを自ら積極的に身に付けられる環境の整備については、基本的には業務時間外の自主的な活動になると考えられ、指標をおき数値の上昇を目指すことは強制力が働く恐れもあるため、置いておりません。
3	行政運営	展開方向1【展開方向の進捗状況を測定するための指標】 上記の2点を指標に表現するために、「自課の組織目標を認識して職務に取り組んでいる職員の割合」を、例えば、「自課のみならず、関連課の組織目標を認識し、さらに変化していく市民や地域のニーズに機動的に 대응していく姿勢を持ち、期待される事業効果の実現に向けて職務に取り組んでいる職員の割合」とした方が、良いのではないかと。(文章長いため、もっと簡略に示すべきですが)	ご指摘いただいた指標については、人事評価制度の運用の中で自己申告により測定することを想定しており、まずは職員自らが認識すべき内容を自覚して職務に取り組んでいるかどうかを把握することから始めていきたいと考えています。
3	行政運営	展開方向3【手段】 6段目、小牧市入札制度改革基本方針についての説明がほしい。	小牧市入札制度改革基本方針とは、「最少の経費で最大の効果の追求」「適正な条件設定のもとでの競争性・公平性の確保」「情報公開などによる透明性の確保」を基本原則としつつ、市内建設企業を育てる入札制度の方向性を示したものです。 なお、ご指摘の「小牧市入札制度改革基本方針」を含め、※が付いている用語については、計画図書を作成する際に、資料編である「用語解説」において説明する予定です。
3	行政運営	現況と課題の資質という言葉は持って生まれたものであり向上することはない。国語的におかしいと思うので、「資質」については削除された方が良いと思う。依然として縦割り行政的な対応がみられるため、「縦割り行政ではなく」という言葉を入れていただけるとわかりやすい。	ご指摘を踏まえ修正しました。
3	行政運営	展開方向1について、指標のなかで、「窓口での職員の対応に満足している市民の割合」とあるが、窓口だけでなく、例えば市役所の廊下で市民と対峙した時に自らあいさつしてくれると市民にとっては非常に気持ちが良い。「庁内外」とはいかないまでも「庁内」という表記を追記するなどしていただくと良いのではないかと。	ご指摘を踏まえ修正しました。

基本施策		委員からの事前意見等	市の考え方(回答)
4	財政運営	<p>厳しい財政運営を迫られることが待ち構えています、行政だけで対応できることには限界があります。</p> <p>市民にも『サービスの低下など』、何らかの痛みを伴う施策への協力の必要性を訴える時期を迎えていませんか？</p>	<p>限られた財源を最大限有効に活用するため、事務事業の見直し、経費の節減合理化を進めていく必要があります。行政評価の取組みによる経営資源の重点配分を行っているところですが、今後は、AI、RPAを活用した業務の効率化を進めるなど、健全財政を維持してまいりたいと考えております。</p>
4	財政運営	<p>【現況と課題】</p> <p>現況と課題に記述されている「不断の行財政改革や新たな財源の捻出」に関しては、具体的な手法についての記載が不足していると感じる。直営から指定管理への移行や、民間事業者の活力の利用、市外郭団体の見直しに伴う民間移行、さらに、市民活動団体への積極的な協働委託による「支出の増加を招かずに行政サービスの質を上げていく手法」への段階的移行や、特に市民活動などが担うものに関しては、クラウドファンディング等を取り入れた事業運営手法への支援、また、国の特区認定制度を使った困難な分野での地域振興への取り組みなど、様々な新しい取り組みにチャレンジしていく姿勢が必要と感じる。小牧は、今後も「夢・チャレンジ都市」というブランド戦略をとっていくのであれば、市自らが新しいことにチャレンジしていこうという姿勢が必要。</p>	<p>民間活力の活用、協働によるまちづくりについては、取組みを強化しているところではありますが、クラウドファンディング等を取り入れた事業運営手法、国の特区認定制度を使った新たな地域振興への取組みなどは実施できておりません。先進市の事例や国の特区認定制度を研究するなど、新たな財源確保・地域振興の手法の検討を進めてまいりたいと考えております。</p>